

## 地域づくり表彰

### CHITA CAT プロジェクト

(愛知県常滑市)

構成：中部国際空港、イオンモール常滑、常滑市、常滑商工会議所ほか

# 競合するのではなく、連携することで 1 + 1 が3以上のシナジー効果！

中部国際空港株式会社

商業事業部長

すずき けんいち  
鈴木 健一



## 1. 常滑市の概要

常滑市は、愛知県知多半島西海岸の中央に位置し、千年の歴史と伝統を誇る日本六古窯の一つである常滑焼の生産地で、急須と招き猫の生産量は日本最大規模を誇ります。



やきもの散歩道 土管坂

2005年2月伊勢湾に浮かぶ海上空港である中部国際空港セントレアが開港し、2015年12月対岸部に大型商業施設イオンモール常滑が開業しました。2019年8月には空港島内に愛知県国際展示場 AICHI SKY EXPOが開業し、新たな開発が進む空港島、りんくうエリア（新しい常滑）と歴史的な魅力溢れる観光資源が豊富な旧市街地（伝統的な常滑）との共存の重要性が増しています。



焼き物と海、そして空のまち

## 2. 団体の概要

CHITA CAT プロジェクトは、知多半島の地域活性化を目的に、セントレア、イオンモール常滑、趣旨に賛同する知多半島の企業、団体、行政等で2015年11月に発足しました。

セントレア、りんくうエリア、知多半島を一体としたエリアと捉え、垣根なく行き来できる環境の構築や、各施設の利用促進、共催イベントの開催など、有形・無形の各保有資産をフル活用した取組を共同で積極的

に推進することにより、地域の魅力向上に寄与しています。

プロジェクト名「CHITA CAT」は、CHITA：知多半島、C：Centrair、A：AEONMALL、T：TOKONAMEの頭文字と常滑の象徴である招き猫をかけて「CAT」としました。



地域をつなぐ象徴となるロゴマーク

## 3. 活動開始の背景・経緯

イオンモール常滑開業に伴い、セントレア、地元商店との関係においては、顧客を奪い合う構図が生まれる可能性がありました。近接してよく似た性格と商業機能を持つセントレア、イオンモール、地元商店は、“競合”するのではなく、シームレス化して“連携”することでそれぞれの魅力を高め合い、価値創造することで、まるで一つのリゾートエリアのように、それぞれのコンテンツの魅力を重ね合い1 + 1 が3以上のシナジー効果を生み出すという趣旨を打ち出し、参画メンバーを募りました。

結果として、企業の大小、メンバーの世代や性別に関係なく、夢や地域活性の思いは持っているものの地元商店の力だけでは成せなかったという方々から新たな提案・取組が自ずと生まれ、活動の幅・連携に広がりをもたらしています。



地域づくりにやる気あるメンバー拡大中

## 4. 活動内容

### (1) 常滑お笑いEXPO

“常に滑る”とも読める常滑の地で、いかに滑らないお笑いを繰り広げるかというテーマで「常滑お笑いEXPO」を開催しています。

子供からお年寄りまで「日本一笑いの起こる聖地」となることを目指して、セントレア、イオンモール、常滑市民文化会館、AICHI SKY EXPOを会場とし、120組以上の人気芸人が一挙に集まる日本最大規模のお笑いイベントとなっています。

第1回（2017年9月開催）は、2日間で約10万6千人のお客様が全国各地から常滑を訪れ、会場で笑って、エリアを回遊して楽しむという、「お笑い」と「地域活性」を組み合わせた前代未聞の一大イベントとなりました。

イベント2日間に留まらず、「お笑い」を軸にあまり知られていなかった穴場観光スポットや最新情報をマスメディア、SNSを活用して広く情報展開したことで、全国的に常滑の知名度を上げるとともに、次回も是非行ってみたい注目のエリアとしてリピーターも増えています。

第3回（2019年9月開催）は、AICHI SKY EXPOも会場として新たに加えてイベント規模がさらに拡大しました。日本独自のエンタメ「OWARAI」文化を新たなクールジャパンとして世界に発信し、国内外から集客を図り、知多半島（常滑市）中を爆笑の渦で埋め尽くしました。いまやお笑い芸人にとっても、常滑の地は笑いの聖地となっています。



日本最大規模のお笑いイベント

## (2) シャトルバス

セントレアと常滑市街地との間は、有料の空港連絡橋を渡らなければならないので、気軽に行き来できる環境を整備するため、セントレアとイオンモール常滑間の「無料シャトルバス」を運行しています。

イオンモール買い物客がセントレアまで足を延ばしたり、セントレア到着のインバウンド旅客が常滑市街地に観光に行く新たな手段となり、当初の想定を大幅に超え、現在では月間約3万人の利用があります。

また、2019年6月からは空港周辺環境に配慮してシャトルバスの一部車両をFC（燃料電池）バスに切り替えました。走行中のCO<sub>2</sub>及び排出ガスを低減するとともに水素エネルギーの活用モデルとして世界最先端の燃料電池分野の技術をショーケース化して国内外に広くPRしています。



シャトルバスは連日大盛況

## (3) エリア回遊クーポン

大型商業施設での集客力を高めて、それを磁石として知多半島内の地元商店を回遊させ、消費機会を創出するという事例として、訪日外国人を対象に「CHITA CAT クーポン」を発行しています。

セントレア、イオンモール、知多半島の地元商店の特典を1冊にまとめることで、地域の魅力、選択肢を高め、お客様目線でもエリア全体の特典が網羅でき、日本人顧客のみをターゲットにしてきた地元寿司店、和菓子店へのインバウンド誘客も新たに生まれています。



知多半島 セントレア イオンモール常滑  
エリア回遊型の共同クーポン

## (4) おもてなしツアー

セントレア到着後や乗り継ぎ、空港周辺に宿泊、出発前の待ち時間等に合わせて選択できる常滑市街地へのガイド付き「CHITA CAT おもてなしツアー」を提供しています。

市街地の交通アクセスが不便な中、台湾人にも人気のサイクリングやウォーキングで巡る体験型コースを組み入れ、アジア圏を中心としたインバウンド需要が生まれています。

英語実践経験を求める地元大学生がおもてなしサポーターとして、語学はあまり得意ではないが地元のことはよく知っている地元案内人とタッグを組んで、若い発想も取り入れサービス向上を図っています。



常滑市街地への体験型ガイドツアー

## 5. 地域資源の活用

常滑お笑いEXPOにおいては、常に滑るとも読める“常滑”という地名自体をうまく活用しています。

「お笑い」を軸に知多半島の伝統文化である山車曳き回し体験や、お笑い芸人が海に囲まれた知多半島の海産物を活かしたメニュー開発や、地元商店が“笑い”、“滑らない”と焼き物を組み合わせたオリジナルグッズ開発など地元商店にとって新たなチャレンジをする機会を創出するイベントにもなっております。



お笑いオリジナルグッズ開発

また、常滑発祥のトイレメーカーとトイレ芸人が連携して、地元小学校にて水やトイレの大切さを教育する「お笑いトイレ学校」の特別授業を開催しています。授業を受けた小学生のみならず、先生方、PTAからの関心が高く、教育的側面での期待も大きくなっています。



お笑いトイレ学校

## 6. 課題と展望

組織形態が、まちづくり法人等の組織化された団体ではなく、民間企業等が「CHITA CAT」という象徴のもと、やる気のあるメンバーが集まったプロジェクトです。コアメンバーであるセントレア、イオンモールは、民間企業ならではの発想で地域活性化を牽引し、オブザーバーである常滑市、常滑商工会議所は、行政の観光振興計画との連動や地元調整など、それぞれの役割のもと得意分野を活かし、相乗効果を発揮しています。

また、事業ごとの受益者負担を原則にすることで事業展開に納得感があり、効果のない事業は即見直し、廃止の意思決定がメンバーの見識を集結させることで多面的かつ迅速に出来ています。

その一方で、プロジェクトが直接収益を得ることはなく、間接的に企業ごとが求める受益を得るというスキームを採っている中で、さらに事業規模を拡大して大きな価値を生み出し続けるためには、各事業リスクにおける責任の所在を明確化し、リスクマネジメントをしていくことが重要になってきています。

常滑市の観光振興計画にも「CHITA CAT プロジェクトとの連携」が明文化され、民間主体だからこそできる取組は一定の効果を受け、地域の観光振興の礎として貢献することが中長期的に期待されています。大型商業施設と地元商店との共存の在り方については、成功事例としてエリアを拡大して横展開していきます。



集合写真はお決まりの招き猫のポーズ